



議会 だより



ちはやあかさか



一般質問

特集：公共施設の現在を問う

徳丸 初美

上・下赤坂城跡と棚田駐車場にトイレの設置を
災害時の避難所の備品の拡充を

藤浦 稔

公共施設の老朽化対策は
中学校付近急カーブの改良工事の進捗状況は

服部 幸令

物価高騰による生活支援は
食料品の値上げによる給食への影響は
遊休農地への対策を

平田 常信

聞くだけスクールカウンセラー問題視

井上 浩一

富田林高等学校分校跡地の利活用は
村内新規事業者への対応を
子宮頸がんワクチンの積極的勧奨について

田村 陽

属人化からの脱却を
阿武町4630万円誤振込問題について
今後の小学校のあり方は



6月定例会 議決結果

○全会一致で報告・承認・可決された案件

一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告	令和3年度から令和4年度に繰り越した事業についての計算書に関する報告。
専決処分（税条例等の一部改正）の承認	地方税法等の改正に伴い、村税条例の一部を改正したこと等についての専決処分に対する承認。
専決処分（税特別措置条例の一部改正）の承認	地方活力向上地域等特定業務施設整備計画の認定事業者に対する制度改正に伴い税特別措置条例の改正についての専決処分に対する承認。
専決処分（令和3年度補正予算16号）の承認	新庁舎建設工事に関する債務負担行為補正についての専決処分に対する承認。
専決処分（令和4年度補正予算1号）の承認	新型コロナウイルスワクチン接種事業・参議院選挙に関する補正を専決にて行ったことに対する承認（829万8千円の増）。
議会政務活動費に関する条例改正	議会政務活動費の収支報告書から押印に関する規定を削除。
事務分掌条例の改正	部（村政戦略部、総務部、健康福祉部、産業建設部の4部）を設置し、部を統括する職制として部長を配置する。
手数料条例の改正	都市計画法施行規則の改正にともない、村条例の改正を行うもの。
体育施設設置条例の改正	野外活動センター（多目的広場）を廃止に伴い、条例から規定等を削除。
専決処分（令和4年度補正予算2号）の承認	参議院選挙に関し増額補正を専決にて行ったことに対する承認（14万1千円の増）。
一般会計補正予算（3号）	新庁舎建設工事費やキャッシュレス決済ポイント還元等による補正（1億3667万1千円の増）。
下水道事業特別会計補正予算（1号）	下水道事業法適化についての事務負担増に伴う増額補正（206万6千円の増）。
後期高齢者医療に関する条例改正	大阪府後期高齢者医療広域連合の条例改正に伴い、村条例を改正するもの。
一般会計補正予算（4号）	住民税非課税世帯等臨時特別給付金・子育て世帯生活支援特別給付金についての増額補正（764万8千円の増）。
沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂をあらゆる埋め立てに使用しないよう求める意見書	沖縄戦戦没者の遺骨が混入した土砂をあらゆる埋め立てに使用しないこと、政府が主体となって戦没者の遺骨収集を急ぐことを求める決議。

議長コラム



千福清英
村議会議長

本村と和歌山県田辺市（旧中辺路町）は、昭和57年に姉妹都市提携を結んでいる。

これは、南北朝の争乱期、楠木正成公が千早籠城の際に中辺路町の野長瀬兄弟が兵糧を送ってくださったことが縁で結ばれたものだ。当時は、村からも中辺路町からも往来があり、住民間でも交流があった。平成6年には村から中辺路町まで歩いて訪問するイベントが開催され、多くの村民も参加した。中辺路町は平成17年に近隣の5市町村と合併して田辺市となり、以来、楠公祭には田辺市から毎年欠かさず参列されていたが、コロナ禍で、ここ2・3年は参列を見送られている。

このような折、今年度、姉妹都市提携から40年を迎えた。コロナを乗り越え、再び活発な交流の機会に是非したいものだ。また、村は姉妹都市提携だけではなく、民間企業や大学とも連携協定を結んでいる。民間企業

とは、災害時での物資供給や搬送、緊急避難場所の提供などを、また、大学とは、観光や教育の分野など、その内容は様々だ。連携協定を締結した際は、報道提供を行うなど、外部に発信され、公民連携に大きな期待が寄せられている。今年も昨年に引き続き、台湾当局より果物などの提供があり、贈呈式では、台湾と村中学生との交流について、村長、教育長を中心に熱心に懇談された。

このように、各種の交流や連携の輪が広まってはいるが、少し残念なのは、公民連携協定が締結された後の具体的な活動内容が伝わって来ないことだ。たしかに、コロナ禍が積極的な活動を阻む要因の一つとなっているが、「コロナ禍で何もできない」と諦めるのではなく、ポストコロナに向けて、今できることを行い、その小さな芽を将来に向けて膨らませていくことが大切である。

今後の交流・連携活動に対して村長の手腕に大きく期待するとともに、議会としても、できる限りの努力をしたい。

全員協議会

〔令和4年6月10日〕

案件

1. 監査結果報告の提出について

- ・ 監査対象課・秘書課・住民課・観光産業振興課
- ・ 監査の結果…概ね適正に執行されているものの一部に検討または改善箇所が見受けられた。

2. 千早赤阪村過疎地域持続的発展計画の変更について

・ 主な変更点

- ① 地域の持続的発展の基本方針の変更
 - ・ 持続的発展の基本方針を第4次千早赤阪村総合計画から第5次千早赤阪村総合計画に変更。
- ② 過疎地域持続的発展のための基本政策及び事業計画
 - ・ 目標及び事業計画の内容について、第5次総合計画との整合を図る。
- ③ 令和4年度新規事業を過疎計画本文及び事業計画へ追加
 - ・ 地域活性化・交流拠点整備事業、営農促進事業、ビニールハウス栽培促進事業、路線バスICカードシステム整備事業、備蓄倉庫等の整備事業

今月の表紙



森屋 東野 未来 ちゃん

(ひがしのみらい)

1ヶ月

父 敦さん 母 友紀さん

うまれてきてくれてありがとう

兄弟仲良く育ててね。

表紙写真 大募集!!

千早赤阪村議会だよりの表紙を飾っていただける
お子様の写真を募集しています。

【募集内容】

0歳から小学生程度のお子様の写真（複数人でもかまいません）

【応募方法】

写真掲載ご希望の方は千早赤阪村議会事務局までお電話または村ホームページ（村議会）にてご連絡ください。

議会事務局 ☎ 0721-26-7168

村は今後公共施設を維持していくことができるのか？

公共施設の現在を問う

新築には多額の費用が

公共施設の建替は60年を目処としていますが、村立中学校はすでに65年が経過しています。長寿命化工事が行われており、すぐに使えなくなるわけではありませんが、近い将来検討が迫られます。

中学校の問題は立地です。村立中学校敷地は史跡指定されているため、現在地で建替を行うことはできません。中学校を維持していくためには、別の場所に新設する必要があります。そのためには多額の費用が必要になります。

1 村立中学校



村立中学校玄関

建築年度 1957年

65 年経過



2 赤阪小学校

統合か、それとも2校維持か

赤阪小学校も建築から62年を超え、近い将来建替か、新設か検討が迫られます。そこで重要になってくるのが「千早小吹台小学校との合併問題」です。現在の予定では、令和7年から合併についての議論がスタートすることになっています。

合併にはメリットもあればデメリットもあります。村の財政問題もさることながら、なにより「子どもたちにとってどのような選択がベストなのか」という観点から検討を進めていく必要があります。



赤阪小学校

建築年度 1960年

62 年経過



くすのきホールは年間1千万円の赤字

現在の公共施設を維持していくためには、今後35年間で約111.4億円必要との試算が出ています。

資金を確保していくことも大切ですが、施設の支出をいかに減らし、収入をいかに増やしていくかを考えていく必要があります。

たとえばくすのきホールの年間経費は1200万円を超えますが、収入はわずか20万円ほどしかありません。

1千万円以上の赤字を毎年生み出しているわけです。

使われない施設を維持していくほどもつたいないことはありません。村民のみなさんにもぜひ積極的に施設を活用していただきたいと思います。

はじめに

本年4月に発行された千早赤阪村公共施設等総合管理計画では、今後35年間で実に111.4億円もの費用が必要との試算が出ています。年間予算30億円程度の本村にとっては非常に大きな金額です。今回の特集では、村の将来を左右する公共施設の現状についてご報告させていただきます。

■ 建替を予定している施設

施設名	建築年度
村立中学校	1957
赤阪小学校	1960
役場庁舎	1962
小吹台低区中継ポンプ場	1974
千早小吹台小学校	1977
千早診療所	1977
小吹台連絡所	1977
小吹台消防分団屯所	1977
いきいきサロンやまゆり	1978
郷土資料館	1985
くすのきホール	1992
学校給食センター	1992
B&G 海洋センター	1993
保健センター	1996
国民健康保険診療所	1996
げんきこども園	1999
消防分署	1999
いきいきサロンくすのき	2002
道の駅トイレ	2016

■ 廃止を予定している施設

施設名	建築年度
倉庫（防災倉庫等）	1962
金剛山ロープウェイ	1965
旧千早小学校	1966
旧自然休養村 管理センター	1975
村民運動場管理棟	1985
野外活動センター	1988
いきいきサロンくすのき 屋外便所	1992
農産物直売所	1994
道の駅ちはやあかさか 休憩所	1995
千早山の家	1999
農村公園休憩施設	2004
金剛山待避小屋	2010

3 小吹台低区中継ポンプ場



建築年度 1974年

60 年経過

改修工事を計画
小吹台低区中継ポンプ場は、小吹台地区東側の汚水を千早小吹台小学校付近まで押し上げるために設置されています。老朽化も進んでいるため、数年内に経路の変更まで含めた大規模な改修を計画しています。

4 千早小吹台小学校



建築年度 1977年

48 年経過

20年程度は使用可能
赤阪小学校よりは新しく、この先20年程度は使用していくことができると考えられています。統合について議論していく際にも、長期的な校舎の利用計画という観点も意識していかなければなりません。

5 千早診療所



建築年度 1977年

45 年経過

外壁の老朽化が進む
千早地区の寒暖差が影響しているのか、外壁や屋根などの老朽化は築年数以上に進んでいます。雨漏り対策などは行われていますが、現在のところ大規模な修繕は行われていません。



小吹台連絡所
消防団屯所

建築年度 1977年



いきいきサロンやまゆり

建築年度 1978年



郷土資料館

建築年度 1985年



上・下赤坂城跡と棚田駐車場にトイレの設置を



費用対効果から必要ない



徳丸初美議員



棚田駐車場

問 観光客が近くにトイレがないため、消防署や近くの民家に駆け込んだという事例もある。棚田や史跡をアピールするのであれば、上赤坂城跡、下赤坂城跡と棚田駐車場の3カ所にトイレの設置をお願いしたい。

答 設置箇所周辺は史跡であり、費用対効果の観点から必要がないと考えている。

問 洪水土砂災害ハザードマップが作成され、住民の命を守るため力を入れてきたが、災害時の避難所は何力所どこにある

災害時の避難所の備品の拡充を

答 村の観光事業については、楠公誕生地周辺を核とした地域活性化・交流拠点整備検討支援業務委託事業において検討を進めていく。

要望 村内・村外の方に良い意味で変化を示すことができ、観光客の増につながることを期待する。

問 洪水土砂災害ハザードマップが作成され、住民の命を守るため力を入れてきたが、災害時の避難所は何力所どこにある

各避難所の保管スペースには容量の制約も

答 避難所は、村が管理する指定避難所と地区避難所がある。指定避難所はくすのきホール、海洋センター、各小学校体育館、いきいきサロンくすのき、保健センターの6カ所。地区避難所は森屋、二河原邊、下東阪、小吹、千早老人憩いの家の5カ所。村が管理している備品。組み立てトイレ、簡易ベッド・マット及び毛布等。食料はアルファ化米、乾パン、ビスコ等、指定避難所のくすのきホールに310食、海洋センターに210食を備蓄。小吹台連絡所に360食、地区避難所の千早診療所に360食、役場倉庫に2750食を用意している。

問 各避難所の保管スペースには容量の制約も

備蓄品の管理はどうか

答 指定避難所の倉庫の多くは十分なスペースがない。新たに備蓄倉庫を設置し、新型コロナ感染防止の資材のほか、食料の備蓄量も増やしていく。

問 避難所用の食料として、色々な世代に合うように、食物アレルギーの方にも対応する必要があり、多様なニーズに対応し、賞味期限切れによる食品ロスを減らすため、備蓄用食料の管理はどうか



備蓄品

問 トイレの設置は必要ないことだが、周辺の住民に迷惑をかけている。村の観光事業として、この3カ所の施設を含め、どんな位置づけでどう活用するのかという根本的なところが明確になっていないと思うが、どう考えているのか。

答 トイレの設置は必要ないことだが、周辺の住民に迷惑をかけている。村の観光事業として、この3カ所の施設を含め、どんな位置づけでどう活用するのかという根本的なところが明確になっていないと思うが、どう考えているのか。

問 避難所用の食料として、色々な世代に合うように、食物アレルギーの方にも対応する必要があり、多様なニーズに対応し、賞味期限切れによる食品ロスを減らすため、備蓄用食料の管理はどうか

答 指定避難所の倉庫の多くは十分なスペースがない。新たに備蓄倉庫を設置し、新型コロナ感染防止の資材のほか、食料の備蓄量も増やしていく。

要望 気候変動などにより想定を超える災害が毎年起きています。何よりも住民の命を守り、必要な所に必要なものがいち早く届くよう、今後も力を入れていただきたい。



藤浦 稔 議員

人口減少や少子高齢化が進んでいく中、公共施設等の課題を解決するための手段として、積極的

にに取り組んでいく。
今後、個別施設計画の策定状況と検討会のスケジュールはどのように考えているのか。

中学校付近急カーブの改良工事の進捗状況は

森屋から、げんきこども園・中学校・下東阪

問 公共施設の老朽化対策は

答 全ての見直しを進める予定

村では、少子高齢化による人口減少、厳しい財政状況により公共施設の老朽化対策が大きな課題となっている。
本年3月に「公共施設等総合管理計画」が改訂

されたが、具体的なスケジュールは記載されていない。今後どのように取り組んで行くのか。

市内に公共施設の計画的な整備と将来需要を見直した施設の適正配置を検討する（仮称）「公共施設マネジメント検討会」を設置する予定にしている。

人口減少が進む中、公共施設の影響は大きい。問題解決に向け取り組んでいただきたい。



新庁舎建設

令和3年2月に役場周辺施設を対象とした公共建築物個別施設計画、体育施設、給食センターを対象とした公共建築物個別施設計画、その他道路や橋梁、下水道を対象とした長寿命化計画を策定している。

今後、未策定施設の計画策定を進めるとともに全ての個別施設計画の見直しを進める予定。

少子高齢化による人口減少が進む中、公共施設の影響は大きい。問題解決に向け取り組んでいただきたい。

の間の路面表示や支障木の伐採などは、今年1月に安全対策を講じてもらった。
中学校付近の急カーブが連続する箇所の改良工事は、大阪府との協議など進んでいるのか。

中学校付近の安全対策については、前から大阪府に道路改良の要望をしている。
引き続き、警察など関係機関との協議を進めていく。

中学校付近は、国の史跡に指定されていることは理解しているが、中学校敷地の災害箇所について

現在、土のうを積み上げたまま2年以上放置されている。
復旧工事について、現在の進捗状況やスケジュールについて伺う。

中学校の土のう設置箇所については、府道の改良工事と併せて対応していく。
また大阪府に対して早期に工事着手するよう働きかけていく。

中学校付近だけでなくインフラ整備の課題が山積している。
関係機関にしっかりと働きかけてほしい。

中学校付近は、国の史跡に指定されていることは理解しているが、中学校敷地の災害箇所について



村道中学前支線



物価高騰による生活支援は



交付金の活用を検討していく



服部幸令議員

本村の農地中間管理事業の活用数

令和2年度	9筆
令和3年度	24筆
令和4年度	7筆

- ※ 令和4年度は5月時点での数字です。
- ※ 筆＝農地の数です。

問 ロシアによるウクライナ侵攻の影響で、食料品・日用品・光熱費、全てが値上がりしている。さらに、6月からは基礎年金の支給が減額される等、日常生活に支障が出ると思われる。

服部幸令議員

政府も緊急対策として補助金を支出するようだが、本村の対応について伺う。

答 令和4年4月26日、原油価格・物価高騰等に関する関係閣僚会議において、地方公共団体において、地域の実情に応じ、きめ細やかに実施できるような「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の拡大をされた。交付金の活用を検討する。

- ① 今後も物価上昇が続く中での給食の品質維持について
- ② 本村の農家への生産物提供依頼の状況について

答 ①は、食材高騰に対応するためにデザートを手作りすることや、地場産をできるだけ多く取り入れ、食材料費を抑えながら、質の維持に努めている。②は、従前から村内産及び河南産の野菜・果物を使用している。

今後も、地場産食材の使用率を高め、おいしい給食の提供に努める。

要望 子どもの心と体の成長のためにも、現状の質の良い給食が提供される体制作りをお願いする。

食料品の値上げによる給食への影響は

問 本村は栄養教諭の創意工夫で安価で良質な給食が提供されている。そこで、左記のとおり伺う。

本村の遊休農地対策について

問 農業者の高齢化や担い手不足、傾斜地の営農条件の悪さによって、村

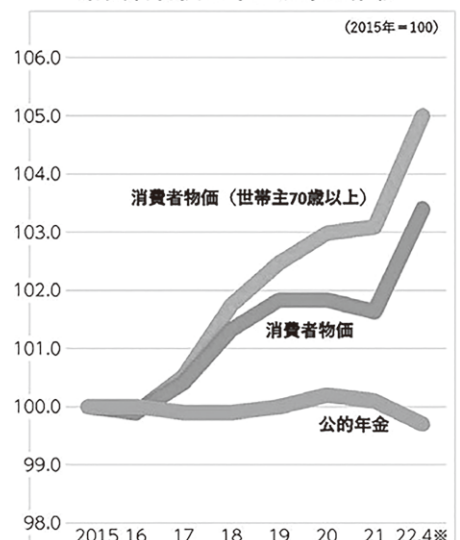
問 くすのきホール周辺等で家庭菜園的な耕作をみかけるが、農地中間管理事業を活用しているのか。

要望 遊休農地を増やさないため、農地中間管理事業を活用した適正な貸借となるよう要望する。

答 くすのきホール周辺の農地中間管理機構である一般財団法人大阪府みどり公社に貸付申し出をするよう促し、併せて農地を探している農家には、この機関の利用を促している。

答 農地中間管理事業のメリットを周知し、活用を促していく。

消費者物価と年金水準の推移



※2022.4の消費者物価(世帯主70歳以上)は、ウエイ(通年)を用いて2022年4月消費者物価から試算。総務省、厚生労働省ホームページより宮本徹事務所作成



平田常信 議員

問 聞くだけスクールカウンセラー問題視

答 相談の多くが好転している

問 2022年4月30日の新聞に『聞くだけスクールカウンセラー問題視』の記事の掲載があった。

記事内容は「不登校などを防ぐため児童生徒らの心理的なサポートを担うスクールカウンセラーについて文部科学省が2月、課題解決に向けて保護者らに助言をするよう都道府県教委に求めたことがわかった。保護者の話を聞くだけでアドバイスをしなかったり、

教員と情報共有をしなかったりするスクールカウンセラーの存在が不登校の専門家からも問題視されていた。」

現在、日本には文部科

学省の調査で令和2年度の不登校の小中学生は19万6127人と過去最多を更新している。

① 村担当のスクールカウンセラーの方は、熱心に活動していると聞いているが現状の活動について問う。

② 現在の小中学生における不登校の人数と、令和3年度千早赤阪村小中学校におけるスクールカウンセラー相談件数と実績を問う。

③ 今回の質問のテーマとは直接関係無いが、学校の授業内容により児童生徒が内容に興味を持ち、楽しいと思う授業になれば、不登校生の減にもつながると思われる。

今年度における小中学校の新たな取り組みについて、何点が具体例を問う。

答 村教育委員会では、大阪府公立学校スクールカウンセラー配置事業を活用し、スクールカウ

ンセラー1名を任用している。スクールカウンセラーは、児童生徒の心のケアや保護者等の悩みの相談、教職員への助言・援助等を行っている。

村のスクールカウンセラーは、年間42日間、緊急支援枠として9日間、計51日間の勤務体制となっている。令和2年度の相談実績は延べ39名、令和3年度の相談実績は、延べ75名。相談の多くが好転したという報告を受けている。内容としては、いじめ・不登校、友人関係、心身の健康についての相談が多く、連携のための会議等を積極的に行うことで、学校、スクールソーシャルワーカー、教育課、福祉課等で情報共有を密にしている。

また、現在の村立小中学校における不登校児童生徒数は4名で、その内3名は千早赤阪村教育支援センター（くすのき

ルーム）に通っている。今後も各校で丁寧に対応する。

次に、今年度の小中学校における新たな取り組みとして、「千早赤阪村郷土学」を小中学校で導入する。千早赤阪村の歴史や文化を学び、郷土を知り、愛し、誇りをもって語れる子どもの育成をめざす。2学期からは、授業の中で郷土の人物である例えば、楠木正成公に関する歴史学習を進める予定。

また、昨年度から配布しているタブレット端末の授業でのさらなる活用を、情報教育推進コーナー、ネイターの指導助言を受け、行っている。

要望 子どもたちが、元気に明るく学校に行くことができる教育環境を要望する。

また、現在の村立小中

学校における不登校児童生徒数は4名で、その内3名は千早赤阪村教育支援センター（くすのき



赤阪小学校



千早小吹台小学校



富田林高等学校分校跡地の利活用は



普通財産の貸し付けを想定



井上浩一 議員



富田林高校千早赤阪分校跡

外国人の事業者が増えている。騒音や臭い等で苦情が出ることがあった場合、言葉の壁等で問題が大きくなるように感じる。村には環境条例があり、村の責務

富田林高等学校分校跡地については活用されず放置されている。現状と問題点、今後の対応を伺う。
答 売却に向けて境界画定作業等進めているが、条件整理が整わない。引き続き進めるがその間においても活用出来る

村内新規事業者への対応

村内で事業をされる外国人の事業者が増えている。騒音や臭い等で苦情が出ることがあった場合、言葉の壁等で問題が大きくなるように感じる。村には環境条例があり、村の責務

とし、「村民と事業者との連携・協力体制の構築に努めるもの」とあり、問題が生じる前に対応は出来ないか。
答 村環境条例では特定事業者に対し、住民説明会や意見交換会で近隣の理解を得るように規定。法令に基づき対応する。

富田林医師会管内は1万6665円。
答 富田林医師会管内は1万6665円。
問 積極的勧奨の休止期間中に対象年齢を過ぎて対象のワクチンを自費で受けた方の助成は無いのか。
答 確認できれば助成対象になる。
要望 わかりやすく丁寧な対応を願う。

外国人の事業者が増えている。騒音や臭い等で苦情が出ることがあった場合、言葉の壁等で問題が大きくなるように感じる。村には環境条例があり、村の責務

子宮頸がんワクチンの積極的勧奨について
問 子宮頸がんは、女性の子宮入口に出来る「がん」、2013年に定期接種となったが副反応の疑いが報告され、積極的勧奨を中止したが、昨年再開が決まり、空白期間の未接種者に対し対策が施され、村でも実施される、内容を伺う。
答 令和4年4月から令和7年3月までの3年間「キヤッチアップ接種」を実施。個別通知等を行う。

＜何人くらいが子宮けいがんになるの？＞
日本では毎年、約1.1万人の女性が子宮けいがんになり、毎年、約2,900人の女性が亡くなっています。患者さんは20歳代から増え始めて、30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう(妊娠できなくなってしまう)人も、1年間に約1,000人います。

＜一生のうち子宮けいがんになる人＞
1万人あたり132人
2クラスに1人くらい

＜子宮けいがんてなくなる人＞
1万人あたり34人
10クラスに1人くらい

1クラス約35人の女子クラスとして発案



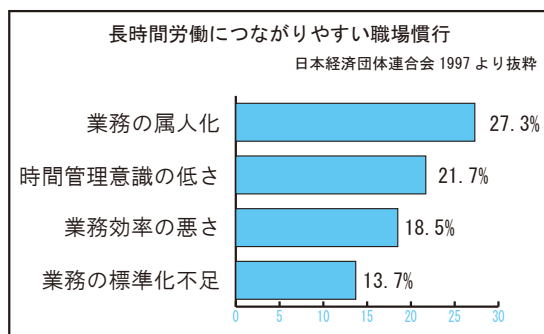
田村 陽 議員

問 属人化からの脱却を

答 属人化しているとは考えていない

問 「属人化」という言葉があるが、これは『特定の人しか業務のやり方が分からない状態』を意味する。

答 本村でも人事異動の際、多くの事務を短時間で引き継ぐことは極めて



多くの企業で業務の属人化が課題となっている

問 属人化しているとは考えていない。

答 現に属人化に起因する問題はこれまで数多く発生してきている。

問 属人化しているとは考えていない。

答 村として継続的に事務を遂行できているので

問 属人化しているとは思っていない。

答 数ヶ月にわたり事務が放置、住民から苦情もある。そこに問題はないか。

問 属人化しているとは思っていない。

答 事務の放置は職員個人の資質の問題もある。

要望 マニュアルづくりも完了していないし、朝礼も行われていないと聞いている。職員個人の資質の問題にするのではなく、組織として情報共有できる仕組みづくりをしてほしい。

阿武町4630万円円換振込問題について

問 阿武町には本村との類似点が多い。同様の問題が本村でも起こっているのでは。

答 給付金の振込にあたって、本村では振込先の間違いや二重振込はなかった。

問 振込手続きは。

答 指定金融機関の伝送



赤阪小学校

問 今後の小学校のあり方は。

答 小学校の統合について議論していく予定は。

問 今後の小学校のあり方は。

答 市町村の枠組みを超えた学校の統合は可能か。

問 小学校の統合について議論していく予定は。

答 本年5月の推計によると、令和7年度に学校・保護者・地域住民との協議の場を設ける予定としている。本年度から統合

ぎかいの窓

6月2日、げんき子ども園を視察させていただきました。

昨年から視察を要望しておりましたが、新型コロナウイルスの感染状況により、なかなか希望がかないませんでした。

視察当日は天候に恵まれ、汗ばむ陽気でした。そのためか、子ども園の玄関では、これから園児たちが使用するビニールプールの準備が行われていました。

園内では、軒下でシャボン玉遊びをしたり、教室でお遊戯をしましたりしていました。



園庭



保育風景

増築された施設では、園児が保育士さんにご飯を食べさせてもらっていました。どの子どもも良く食べて元気に育っている姿が、本当に微笑ましく思えました。

園内外の施設を拝見して、園児たちの安全を第一に考えられていることがよく分かりました。

千早赤阪村では、人口減少にもない子どもの人数も減っています。ただ、子育てをするには、自然豊かな本村は良い環境だと思います。この素晴らしい施設から、子どもたちの元気な声が響き続けられる村になるように願います。

議会を傍聴

しませんか？



次回定例会の予定

- 9月 2日(金)から9月16日(金)です。
- 9月 2日 本会議 初日 午前10時
- 9月 6日 決算特別委員会 午前10時
- 9月 8日 文教建設常任委員会 午前10時
- 9月 9日 総務民生常任委員会 午前10時
- 9月16日 本会議 最終日(一般質問)午前10時

上記日程は新型コロナウイルスの状況により変更になる場合があります。傍聴についてもお断りすることがあります。

議会事務局 ☎0721-26-7168
議会事務局は保健センター2階
議場は3階集団指導室兼議場

雑

感

この季節、神社仏閣・公園・道路端など、どこへ行っても「あじさい」がきれいな花をつけ美しく咲いているのを見かける。

朝露を受けて輝く花を見るたびに心が癒やされるが、こうした感想を持つようになったのも年のせいだろうか。年といえ、我が村では、少子高齢化による人口減少、厳しい財政状況など大きな課題が山積みの中、いよいよ団塊の世代が後期高齢者となる時代を迎えようとしている。

そうならば当然一人暮らしの高齢者も増えることになるが、そこで心配されるのが「買い物難民」の増加である。

元氣なうちは誰しもまさか自分が一人で買い物に行けなくなるなどとは思わないものだ。自分の未来を冷静に予想するのは誰だって難しいものである。

だが、政府もそうであっては困る。目先のことだけでなく、孫の代につけを残すことのないよう先を見据えた政策を考えてもらいたい。そう思うのはきつと私だけではないはずだと思うが、みなさんのお考えはいかがだろうか。

(M・F)

広報編集委員会

委員長	井上浩一	副委員長	田村 陽
委員	徳丸初美	委員	平田常信
議長	千福清英		